

各 位

会 社 名 株式会社ヴィンクス
代表者名 代表取締役 社長執行役員 吉田 實
(JASDAQ・コード3784)
問合せ先 取締役 常務執行役員 管理本部長 木元 寛
(TEL. 03-5209-7351)

中期経営計画（2014年度-2016年度）策定に関するお知らせ

当社は、平成25年5月9日付で発表いたしました「中期経営計画（2013年度-2015年度）策定に関するお知らせ」につきまして、昨年度の経営統合を踏まえ、既存の中期目標値を見直し新たに2014年度を初年度とする中期経営計画（2014年度-2016年度）（以下、本中期経営計画といいます。）を下記のとおり策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 見直しの理由

当社は、経営統合により強化された競争力のもと、大手総合小売業グループを中心とした既存顧客との更なる関係強化を図るために、国内・海外双方におきまして、付加価値の高いサービスを継続して提供してまいりました。しかしながら、流通・サービス業を取り巻く現在の厳しい環境において、安定的且つ持続的な事業成長を遂げるためには、グローバル市場を含めた事業基盤の更なる強化と、新たな価値を提供する商品やサービスの創出が重要であると考えております。

このたび、当社は、流通系ITシステムに特化した業界最大規模の企業として、事業成長と安定的な収益基盤確立の両立を図るため、既存の中期目標値を見直し新たに2014年度を初年度とする本中期経営計画を策定することといたしました。

2. 本中期経営計画の基本骨子

(1) 基本戦略

当社グループは、「アジアにおける流通ITのリーディングカンパニーを目指す。」を経営ビジョンとして、経営統合により強化された競争力のもと、4つの基本戦略を主軸に、更なる事業成長と安定的な収益の両立を図ってまいります。

①特定顧客（注1）化戦略

1) 特定顧客事業の拡大

既存特定顧客に対し、経営統合により強化された要員体制と商品・サービスメニューをもって、コンサルティング・設計・開発・運用・保守など、全方位からの高品質且つ迅速な総合ITサービスを提供し、更なる事業規模拡大を図る。

2) 新規特定顧客の開拓

既に当社グループのパッケージや一部サービスを利用されている顧客に対し、経営統合により強化・拡大されたサービスメニューを積極的に提案し、信頼されるITパートナーとしての地位を確立し、特定顧客化を推進する。

3) ストックビジネスの拡大

データセンターサービス、運用監視サービス、ヘルプデスクサービス及びクラウドサービス等のストックビジネスの拡大展開により安定的な収益基盤を確立する。

②グローバル戦略

1) 日系企業向け中国・アセアン地域進出の支援の拡大

中国及びベトナム・カンボジアなどのアセアン各国における日系企業向けビジネスに関するサポートを行い、事業拡大を図る。

2) I T運用サービスの拡大

中国現地法人「維傑思科技（杭州）有限公司」を中心に、アジア全体へI T運用サービスの拡大を図る。

3) 中国・アセアン地域における現地法人向けサービスの拡大

中国・アセアン地域における現地法人向けビジネス拡大に注力し、現地における当社グループのブランド力向上に努める。

③商品・サービスの差別化戦略

1) 製品・サービスのラインアップの拡大

経営統合により拡大された製品・サービスのラインアップをもとに、両社の持つ技術・ノウハウを結集し、新たなシェアNO. 1製品・サービスを開発する。

2) 流通システムのクラウド化

独自のサービス「C o M o b i S」（注2）のコンセプトを元に、顧客の規模・ニーズなどに合わせた最適なサービスをローコスト・短納期で提供することができるクラウドサービス及びプロダクトのラインアップの拡充を図る。

3) グローバル展開に対応した商品化及びチャネル販売の確立

中国・アセアン地域への展開に連動した製品・サービスを開発するとともに、新しいチャネル販売モデルを確立し拡販を目指す。

④経営基盤の強化

1) 国内外の事業拡大基盤の強化

国内外事業の継続的な成長を支える経営管理体制及びプロジェクト管理体制を確立し、事業基盤を強化する。

2) 品質とプロジェクト管理の強化

国内外の各プロジェクトにおける運用・品質管理を強化するためにPMO（注3）に加えて特命プロジェクト担当役員を設置することで体制強化を図り、品質を保持しながら計画的且つ効率的にプロジェクトを遂行することにより、赤字プロジェクトを撲滅し収益力の向上を図る。

3) 人材マネジメントの強化

- ・中長期的な成長・拡大を支える人材に対する教育を重点的に行う。
- ・技術者資格の取得を推進し、早期の技術者育成を行う。

4) 国際分業化の推進

アセアン地域におけるS E拠点として設立したベトナム現地法人「VINX VIETNAM COMPANY LIMITED」を活用したソフトウェア開発の国際分業化を推進し、システム開発における生産性向上に努める。

（注1）特定顧客

各業種業態の有力企業であり、当社が主要I Tパートナーとしてプロダクトの提供やソリューション開発に加え、保守・運用業務まで含めて総合的にサービスを提供している顧客のことであります。

（注2）C o M o b i S（Cloud Mobile Store System）

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスを活用した次世代型店舗システムのことをいいます。

（注3）PMO（Project Management Office）

組織におけるプロジェクトマネジメントを統括・管理することを専門として設置された部門のことであります。

3. 中期経営目標値

(1) 連結

(単位：百万円)

	2013年度 実績	2014年度 計画	2015年度 計画	2016年度 計画
売上高	27,271	28,800	30,200	31,700
経常利益	1,509	1,650	1,780	1,930
(経常利益率)	5.5%	5.7%	5.9%	6.1%
当期純利益	824	980	1,080	1,160
(当期純利益率)	3.0%	3.4%	3.6%	3.7%
1株当り当期純利益(円)	95.28	112.07	123.50	132.66

※1株当り当期純利益につきましては、潜在株式を含めておりません。

(2) 個別

(単位：百万円)

	2013年度 実績	2014年度 計画	2015年度 計画	2016年度 計画
売上高	24,879	26,640	28,000	29,400
経常利益	1,643	1,680	1,790	1,920
(経常利益率)	6.6%	6.3%	6.4%	6.5%
当期純利益	933	1,030	1,110	1,180
(当期純利益率)	3.8%	3.9%	4.0%	4.0%
1株当り当期純利益(円)	107.90	117.79	126.94	134.94

※1株当り当期純利益につきましては、潜在株式を含めておりません。

以 上

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画対比と異なる可能性があることにご留意ください。